

## 第6次斜里町総合計画策定委員会 第13回部会長会議 記録

1. 日 時 平成25年10月17(木) 18:30~20:50
  2. 場 所 ゆめホール 会議室3
  3. 出席者 別紙にて
  4. 内 容
    - ・各部会の経過報告を行った。
    - ・改めて計画の全体共有を図り意見交換を行った。
    - ・今後の進め方について確認し、部会でまだ固まっていない所や、本部会長会議で出た指摘事項は、事務局より個別に部会と調整することとした。
    - ・本部会長会議で出た意見を踏まえて事務局で基本構想をつくり、臨時議会の前に委員長、副委員長に確認してもらうこととなった。
    - ・11月臨時議会への報告として、議論の余地のある部分は示さず、各部会と調整したものを議会へ出すことを確認した。  
(→11月臨時議会の日程が、6日から15日へ変更になったため、計画が固まった段階で政策会議を行い、その結果を反映したものを11月議会へ出すこととなった)
    - ・次回の部会長会議は11月末を予定。
- 

### ●会議内容<要旨>

#### 1. 開会

- ・門間副委員長の進行で行われた。

#### 2. 委員長挨拶

- ・いよいよ日程的に押し迫ってきている。今日の段階で出そろった計画を中心に議論を進めたいと思うので、宜しくお願いしたい。

#### 3. 経過報告

##### (1) 各部会の経過報告

##### ○みどり部会 (下山部会長)

10月16日に部会を開催した。前回の部会長会議、拡大政策会議、議会からの意見を踏まえて、基本計画の最終修正の確認作業を行った。その後、環境基本計画の最終協議を行い終了した。その計画を環境審議会へ諮問し、修正箇所、諮問内容を部会へ報告してもらうことになっており、両方とも、協議は終了している。

##### ○しごと部会 (高橋部会長)

前回の部会長会議から2回部会を開催しているが、時節柄、なかなか皆が集まることができない中で、内容に肉付けをして、言葉や表現を平易にする等、ある程度形になってきており、先は見えてきたように思う。今日は色々と意見を頂きたい。

##### ○まちなみ部会 (元木部会長)

9月11日以降部会を開催していない。部会としては9月11日ではほぼ完成した。今後は、修正点

や議論の必要性があれば持ち帰り部会を開いて協議したい。

○くらし部会（戎居部会長）

10月8日に部会を開催した。担当がこない、持ち帰った宿題が提出されない等の問題があり、まだ中途半端な状況となっていて申し訳ないと思っている。これから一致団結して頑張っていきたい。

○いきいき部会（梅村部会長）

当初10月8日に部会を開催予定だったが、実際には部会を開催していないので、資料1の会議等開催状況を訂正願いたい。

議会からの指摘事項が少なく、既に成果指標の見直しを行っていたことから、部会を開催するまでもなく行政委員の方で文言の訂正ができるとのことだったので、お任せした。

○まなび部会（近藤部会長）

10月11日に部会を開催した。成果指標の項目等について話し合った。数値など記入している所があるが、行政委員の方で調べている所もある。こういった形で成果指標を表そうということで協議を行った。

○ちょうみん部会（武山部会長）

10月8日に部会を開催した。拡大政策会議や議会の中で指摘事項があったので、これについて成果指標や文言整理を含めて協議を行った。

(2) 会議開催結果の報告

- ・事務局より資料1について説明。10月8日のいきいき部会を削除願いたい。
- ・資料2について、前回の部会長会議では欠席者が多かったため、改めて前回の部会長会議の結果概要を説明。
- ・資料3について説明。

4. 議 事

(1) 基本計画について

事務局より資料4を用いて各部会での現状、問題点を説明。

各部会の単位施策や基本施策は、今後、意見を言う機会がないと思われるので、改めて全体の計画を共有して意見交換をお願いしたい。意見交換にあたり、第6次総合計画では、どんなことを訴えていきたいのかを全体のバランスを見て、足りない点、不足している点を意見交換していただきたい。

- ・みどり部会は、2カ月以上前から動いていない。バックには環境基本計画があり、ほぼ出来上がっているため、一番落ち着いている。
- ・しごと部会は、全般的に現状と課題の項目と成果指標の項目は、まだ議論がされていないので、

- 今後変わる可能性がある。目的目標や、単位施策については、かなり精査が進んできている。
- ・まちなみ部会は、3-1-1、3-1-2のボリューム調整が図られていない。また、現状と課題、目的・目標については、要約されると思われる。3-1-3以降の成果指標は調整が必要と思われる。3-3-1、3-3-2の情報の部分、インフラの話と、情報の活用の話で、ちょうみん部会でもやっている話なので、再構成が必要になる。
  - ・くらし部会は、この1か月で動いてきているが、指摘事項が反映されていない所がある。4-4-1から4-4-4までは動く可能性がある。特に部会で議論になったのが、4-4-4は部会として一度落としていた施策だが、行政委員側でこの種のものを入れることはできないかという希望が出てきた。具体的にはデマンドバスの関係で、バスの目的が高齢者に特化するのであれば、いきいき部会で拾ってもらう方が良いのではないかという議論になっている。
  - ・いきいき部会は、現状と課題は箇条書き形式が多かったので、項目にてらして精査してもらっている。単位施策も統廃合を進めていただいている。成果指標については、事務局側で意図している内容が伝わっていないことから、事務局と行政委員で調整したい。
  - ・まなび部会は、拡大政策会議では、学校教育と社会教育の区分から始まり、根本的な議論があった。それに伴い施策の入替や文言の精査の議論を行っていただいた。成果指標については、問題ないように思える。特に6-3-1から6-3-3は、修飾語が多いために代えて伝わり難くなっているように思う。単位施策も長いが、どうするかは様子を見てから決めたい。
  - ・ちょうみん部会は、改めて行政委員と調整して、部会の開催が必要であればお願いしたい。ちょうみん部会の方で、情報や町民参加、協働、自治基本条例を動かす所になってくるので、総合計画の活用が集約されてくるので、もう少し整理が必要だと思う。

各部会より、構想に関わるような思いを説明。

みどり部会—自然環境の部分では、世界を代表する自然環境がある中で、自然環境の保全と、野生生物の保護管理というのが重要ではないかと思う。

生活環境の部分では、すばらしい環境がある町だからこそ、ごみ処理にしても従来の焼却ではなく、循環型のごみ処理方法により、この町ならではのごみの有効利用を進めようというのが重要ではないかと思う。

しごと部会—現状と課題については、我々は総合計画を策定しようという段階から新しいものをつくっていかうという思いが根底にあった。変えにくい部分と、思い切って変えられる部分がある。産業基盤整備については、基本的なものを変えられない。

知床というと全国的に認知度は高いが、斜里の認知度は低い。また、知床という言葉を使えるのは斜里だけではないため、地域ブランドのイメージアップを主に議論を重ねてきた。産業というものに対するイメージが固まっているので、両方に対してイメージを強くなおかつ整合性を出していくことが大事な所だと思う。

まちなみ部会—最初からテーマとしてハード的なものが多かったので、住環境にテーマを絞りがやすかった。作るのにも作った後にも町民、民間との協働がキーワードになると思うので、町民、民間、役場が協働してものづくりや管理をしていく必要があるということ scatter を散りばめている。

くらし部会—最初は防災、消防、救急が一緒だった中で、防災をあえて特出ししており、部会の

中でも一番時重要だということで、防災を頭に持ってきている。重要だというものを出示していただいた結果、5次とは大きく変わっていない。くらしの安全安心については、今段階になってようやく議論を始めた所なので、今後、内容についても変わると思う。

また、4-4-4 地域交通の確保については、5次の中では入っていたが部会の中で議論した結果、あえて項目出しする必要はないのではないかという経緯があったが、その後、復活した。

部会では、高齢者の方の単位施策の中に入れていただければ良いと考えている。

いきいき部会—5次が細分化されていたので、6次はこれを見直してまとめてきた。アンケートの中では、国保病院の評価がかなり低く、これから重視してほしいという結果だった。安定的な医療体制を整備するには、何が必要なのかと議論した結果、大事なのは人だということになり、これをキーワードとして議論してきた。介護福祉施設にしても、ハード面が充実していても、マンパワーが不足しては駄目なので、6次では人づくりを打ち出していくべきだと考えている。

まなび部会—テーマは社会教育と学校教育、中でも学校と地域の関わりが薄くなっている。地域との関わりを持っていくことが重要ではないかと考えている。

ちょうみん部会—自治基本条例を根底に議論をしてきた。色々な話もそこをベースにしているもので、自治基本条例が比重的には大きいと思う。

三浦委員長—最終的には行政で整理されると思うが、できるだけ自主的に統一していきたい。意味が通じなくならないようにできるだけ簡潔的にしていきたい。また、全体を通して内容が薄いと感じる。全体を見直した中で、足りない所を加える等の作業をやってほしい。

門間副委員長—全体に対して、無理なものは無理ということで、納得できる理由を考える必要がある。支える人が少なくなっている中で駄目なものは駄目という必要がある。ただし、できない理由を探すのではなく、皆でやればできるということを計画に反映させられればと思う。

## <出された主な意見>

### ○みどり部会

- ・1-2 持続的発展が可能な循環型社会づくりの推進について、政策名で循環型社会づくりとうたひながら、単位施策では再生可能エネルギーやリサイクル・ごみ処理の話となっているため、政策名と施策のギャップを感じた。
- ・1-2-1 地球温暖化防止対策の推進について、再生可能エネルギーの導入、太陽光発電は、全国区の取り組みなので、後ろへ持っていきたい。

### ○しごと部会

- ・2-2 知床しゃりブランドの展開、2-3 担い手の育成と確保について、なぜイメージ戦略を推進しなければいけないのか、流動的な雇用が必要なのかだとか、足腰の強い産業を目指すためになぜ担い手の育成が必要なのか。ブランド展開が必要なのかという理由が読み取りづらい。
- 各論は出るが、まだ議論が煮詰まっていない。将来の担い手ということを言うのであれば、政

策名は人材育成のような名称のほうが良いのかもしれない。

・事務局へ現状課題を寄せてもらった方が良いのか。

→できるだけ皆さんの思いを汲み取って、案を作って皆さんに見てもらおう形を取りたい。

→部会とのやりとりや部会長会議を経由して決めていく時間はないと思う。

・どういう 10 年にしようという時に、全体を支える中核的なキーワードがあると良い。

→基本条例の議論の時には、斜里らしいものをつくろうという意見が多く出ていた。

→ちょうみん部会の基本目標に、町民が主役となってというのが、斜里らしいと思うので、これが花になると思う。

・町民が主役・主体、効率・効果を求めて協働という文言をキーワードにするというのは、基本条例の精神そのものである。地味で花はないが、現実を優先して堅実に行くという路線を今回求めるのであれば、今後 10 年は、次の夢を見るための力を蓄えるワンステップと考えても良いと思う。

→金はないけれど心配するなみたいなことではないだろうか。

→安心感を与えるのは良いと思う。

#### ○まちなみ部会

・まちなみ部会は、文言を整理してコンパクトにした方が良い。

→行政委員には、再度コンパクトまとめて整理するように伝える。

情報通信基盤の整備促進については、公共施設間のネットワークは既に出来上がっており、以前から要望のあったウトロと中斜里地区には、既に光回線が整備されている。また、郡部ではブロードバンド（ADSL 及び光）未整備の地域がある一方で、LTE のような携帯電話の高速通信回線網の整備が進んできているため、ブロードバンドの過疎地が局所的になってきていることから、あえて整備を促進する必要はないのではないかとと思う。

・産業の情報化推進については、しごと部会に含まれているので、まちなみ部会からしごと部会へ。

・情報化の共有の推進については、まちなみ部会からちょうみん部会へ。

・通信サービスの確保について、情報弱者の観点からいきいき部会に入っているか。

→入っていない。

→情報弱者に対してのことなので、ちょうみん部会の「7-1-1 情報公開と情報共有の推進」の単位施策ではなく、現状と課題に書き込む。

#### ○くらし部会

・くらし部会の単位施策の順番が気になる。

→防災は重要だということであえて上へ持ってきている。また、水は普段から使うから水の方が重要ではないかという意見があったため、この順番になっている。

・交通弱者について、高齢者に特化してというのであれば、5-2-1 の単位施策、高齢者の社会参加の促進または高齢者の生活環境の促進のどちらかに入っても違和感はない。

#### ○議会対応について

・議員に作成途中の計画に対して意見を求めるのはナンセンスだという意見もある。また、この

会議にかかる時間や経費がそもそも無駄ではないのかという意見も耳にする。

→会議の開催や結果はホームページに出しており、議論も詰めの段階に入っているのだから、議員からは、意見があればオブザーバーでも良いので、会議に参加してもらおうか、意見を出してもらった方が良いのではないかと。

→計画が固まりつつある段階にきていることから、逆に議会から意見をほしい段階だと思う。

→11月議会には、9月議会と同様にいただいた意見は受け止めて引き続きつくっていくということを出す予定である。また、議論の余地のある部分は示さない予定である。

#### ○その他

・成果指標に対して、本当にこれで良いのかという所があるので、色々な意見がほしい所ではある。

→馴染まないという所があれば言うが、それ以外は尊重する。

・部会でまだ固まっていない所は、事務局で個別にあたって調整することとする。

・町民の参加、協働は、事務局で2、3種類のマークをつくり分類案を作成する。貼る作業は部会に任せる。

・基本構想については、この部会長会議で出した意見を踏まえて事務局で基本構想をつくり、日程的に臨時議会の前に部会長会議を開催することはできないため、委員長、副委員長に確認してもらったものを議会へ出すこととする。

#### ○今後のスケジュール

・11月臨時議会に草案（素案）、12月議会に原案、その後、パブリックコメント、1月の臨時議会で行政案として議案として出すことを予定している。

・次回の部会長会議は11月末を予定。12月に最終部会を行い、1月に全体会議を行う予定。

・11月6日（水）に臨時議会の予定なので、その前に構想を確認できるように、メール等で送って確認してもらう。（→11月臨時議会の日程が、6日から15日へ変更になったため、計画が固まった段階で政策会議を行い、その結果を反映した状態のものを11月議会へ出すこととなった）

第6次斜里町総合計画策定委員会 第13回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利	○	
副委員長	門間 哲也	○	
みどり部会長	下山 誠	○	
しごと部会長	高橋 秀典	○	
まちなみ部会長	元木 誠二	○	
くらし部会長	戎居 桂三	○	
いきいき部会長	梅村真由美	○	
まなび部会長	近藤 将人	○	
ちょうみん部会長	武山 俊一	○	

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕	○	
企画総務課長	馬場 龍哉	○	
企画係長	河井 謙	○	
企画係	竹川 彰哲	○	
企画係	塩 幸也	○	

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考